



別記様式(第8条関係)
(その1)

令和 6年 4月 17日

新城市議会議長

長田共永 様

氏名 滝川健司



令和5年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和5年度政務活動費収支報告書

氏 名 滝 川 健 司

1 収 入

政務活動費 150,000 円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	162,685	市町村議会議員特別セミナー(受講料・旅費)、水源の里シンポジウム(参加費・旅費)、他
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	10,139	コピー機リース料、コピー代
資 料 購 入 費	0	
合 計	172,824	

3 残 額

0 円

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

令和5年度政務活動研修費明細

滝川健司

『研修費』		162,685 円
○全国市町村国際文化研修所 7月31日～8月1日 令和5年度第1回市町村議会議員特別セミナー 上記研修会の交通費等として		
乗車券（茶臼山⇄唐崎）	16,880 円	
研修参加費	6,900 円	
振込手数料	440 円	
小計	24,220 円	
○第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州 令和5年10月25日～26日 上記研修会の交通費等として		
乗車券（茶臼山⇄北九州）	33,920 円	
フォーラム参加費	9,000 円	領収書(振込明細)は4人分 (山田、山口、カークランド、滝川)
視察参加費	10,000 円	
宿泊費	8,500 円	
振込手数料	165 円	
		660÷4=165
小計	61,585 円	
○第15回全国水源の里シンポジウムIN島根県松江市 令和5年11月21日～22日 上記研修会の交通費等として		
乗車券（茶臼山⇄松江）	36,840 円	
宿泊費	13,000 円	
現地視察参加費	3,000 円	領収書（振込明細）は山口議員と折半 〃
振込手数料	220 円	
小計	53,060 円	
○全国市町村国際文化研修所 令和6年1月22日～23日 令和5年度第3回市町村議会議員特別セミナー 上記研修会の交通費等として		
乗車券（茶臼山⇄唐崎）	16,480 円	
研修参加費	6,900 円	
振込手数料	440 円	
小計	23,820 円	
合計		162,685 円

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
05-07-26	1551008-4009
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号	
00000000000000	お取引金額
	¥6,900*
お取引種別	お取引後残高
支払い	*****
手数料 ¥440	ページ 硬貨
時刻 11:06	おつり
サイ)セ"ソコクシチヨウソクケンシユウサ"イタ "ンセ"様 タキカワ ケンツ"様 印紙税申告納 付につき豊橋 税務署承認済 ご利用ありがとうございました。	

豊橋信用金庫

第1回 JIAM セミナー

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
05-10-16	1551008-ツ146
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号	
00000000000000	お取引金額
	¥110,000*
お取引種別	お取引後残高
支払い	*****
手数料 ¥660	ページ 硬貨
時刻 11:24	おつり
カ) JTB 様 245タキカワケンツ"様 印紙税申告納 付につき豊橋 税務署承認済 ご利用ありがとうございました。	

豊橋信用金庫

第18回 議長会フォーラム

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
05-11-13	1551008-ツ141
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号	
00000000000000	お取引金額
	¥6,000*
お取引種別	お取引後残高
支払い	*****
手数料 ¥440	ページ 硬貨
時刻 11:02	おつり
カ) ツ"エイテイ-ヒ"-様 シンシロシキ"カイ タキカワケンツ"様 印紙税申告納 付につき豊橋 税務署承認済 ご利用ありがとうございました。	

豊橋信用金庫

第15回 水源の里シボリズム

お取扱明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。
お取引いただきました明細は、下記のとおりです。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
06-01-21	1551008-サ120
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号	
00000000000000	お取引金額
	¥6,900*
お取引種別	お取引後残高
支払い	*****
手数料 ¥440	ページ 硬貨
時刻 15:52	おつり
サイ)セ"ソコクシチヨウソクケンシユウサ"イタ "ンセ"様 シンシロシキ"カイ タキカワケンツ"様 印紙税申告納 付につき豊橋 税務署承認済 ご利用ありがとうございました。	

豊橋信用金庫

第3回 JIAM セミナー

研 修 報 告 書

令和5年 8月 31 日

新城市議会議長 様

滝川健司



以下、研修に参加しましたので報告致します。

1. 研修日 令和5年7月31日（月）～8月1日（火）
2. 研修場所 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）
3. 研修内容 令和5年度 「第1回市町村議会議員特別セミナー」
日程及び詳細は別紙による
4. 派遣員 滝川健司
5. 経 費 政務活動費を使用
6. 行 程 公共交通機関（JR）を使用
7. 研修内容報告・所感



講義1 「 脱炭素先行地域真庭の挑戦 」

～地域資源を活かした真庭市の挑戦～

講師：岡山県真庭市 市長 太田 昇 氏

- ・人口減少するも経済的には逆転の発想で考える→ネガティブからポジティブに
- ・再生可能エネルギー自給率現状62%→100%を目指す→地域マイクログリッド構想の推進
- ・RESAS分析により地域経済を可視化する
- ・行政は、地域を真に豊かにするための条件整備会社
- ・多彩な地域性＋多様な地域資源＋住民の個性・思い＝真庭ライフスタイル→多彩で豊かな生活
- ・マニコインの活用、1万円のチャージで1万1千円分使える、軽自動車税や固定資産税、買い物
- ・SDGsの推進、市内業者40%参加、地域資源を活かした回る経済を確立
- ・旅行業者登録、SDGs体感ツアーの構築（広域連携SDGsモデル事業）
- ・ゼロカーボンシティまにわ→第1回脱炭素先行地域に選定
- ・真庭なりわい塾→農山村における新たな生き方と多様な働き方を模索し創造する人材を育成
- ・地域共生社会の実現に向けて、市民誰でもが参加できる対話の場づくり



講義2 「未来の年表 ～人口減少で地方に起きること、すべき事～」

講師：一般社団法人人口減少対策総合研究所 理事長 河合雅司 氏



- ・2022年日本の人口動態、年間出生数過去最少、合計特殊出生率過去最低、年間死亡者数過去最多、自然増減数過去最大減、年間婚姻数増
- ・異次元の少子化対策→的外れの対策では根本解決にはならない
- ・人口減少でも豊かな生活をするにはどうすべきか
- ・出生率がUPしても出生数は減少→女性が減少→今後さらに出産期の女性人口減少へと
- ・東京一極集中は20代前半の男女が中心、100年後人口は5000万人を切る
- ・30年後高齢化率37.1%、前期高齢者減少後期高齢者増
- ・高齢化する高齢者→女性、一人暮らし、貧しい、無年金、低年金高齢者の増加
- ・50年後現役世代＝働く人→半減
- ・人口減少→過疎地域ほど生活コストが高くなる→医療サービスも撤退
- ・20年後地方公務員20%不足→3/4の職員で今の仕事量をこなす
- ・人口が減っても経済成長と社会機能の維持をするには
- ・戦略的に縮む成長→高付加価値化、生産性の向上、社会機能の強化
- ・自治体の役割→生活機能の維持、人口集約、地域自立型企業の立地、女性向け雇用創出
- ・人口集約→ポツンと5軒家のためにインフラを維持しない
- ・変化のあるところにチャンスあり！

講義3 「Z世代とこれからのまちづくり」

講師：芝浦工業大学デザイン工学部 教授 原田曜平 氏



- ・日本の世代間、戦前、戦中、戦後、→Z世代（16歳～24歳）
- ・Z世代の背景→超人手不足前提
- ・チルの文化＝ゆったりマイペースでいこう！
- ・スマホと共に、所有率中学生77%、高校生98%、大学生99%
- ・SNS→Twitter & Instagram が2強ツール、進むテレビ離れ→テレビよりもユウチューブ
- ・SNSによる自己承認欲求の高まり、SNS, ユウチューブによる海外トレンドの普及
- ・Z世代とゆとり世代の違い→無気力・無感動・無購買・意識高い系多趣味・ずばらな発信系男子
- ・推し活節約女子、自分を持った真面目男子
- ・Z世代の消費行動→チル：シーシャ・リラクゼーション・ピクニックブーム、ホカンス、サウナ
- ・ミー：関節自慢、盛り文化、カスタマイズ、パーソナライズ
- ・親子消費、海外疑似体験→韓国・中国ブーム、欧米の影響
- ・絆確認、推し活、レトロ・ニュートロブーム
- ・まちづくり人材としてのZ世代→チル：居心地の良い時間を過ごしたい

講義4 「その地域づくり、古くない？」

～全国280以上の自治体と共創してきた、地域づくりの秘訣～

講師：株式会社あわせ 代表取締役 吉田基晴 氏



- ・GDP→GDH、ITインフラで差はつかない！
- ・サーフィン→移住してもやりたい！
- ・引っ越ししてもやりたい遊びや趣味があるか？
- ・「職、住、遊」近接の利点を生かした働き方生き方を提唱→半X半IT
- ・都市ではできない暮らし方が可能な地方
- ・二者選択ではなく複数同時選択可能な社会
- ・課題が多いほどやりがいがある
- ・企業誘致は目的ではなく、チャレンジを誘致する
- ・テレワーク、リモートワーク、ワーケーション、コロナ禍を経て大人の関係人口は難易度が低下
- ・仕事が場所に紐づく時代の終焉
- ・学童、家族の関係人口化→デュアルスクール（区域外就学）、家族の2地域居住
- ・成果＝質×量、関係人口の質は地域関与度と関係機関の長さ
- ・一人が複数の役割を担う、起業・創業・事業継承支援
- ・田舎の未来なんか変えられる！
- ・田舎の過疎の町でもにぎやかな町に→にぎやかそ
- ・チャンスの総量が多いのは都会、触れるチャンスが多いのは田舎
- ・IがUを刺激しチャレンジがチャレンジを誘発する

【所感】

今回の特別セミナーは、再生可能エネルギー・人口減少・Z世代・過疎、4つのキーワードそれぞれの地域における地方創生まちづくりについての講義であった。中長期的な視点、人口減少が当たり前、若者の心をつかむ、地方の良さ、それぞれを再認識することからまちづくりは始まるのか。

「ないものはない！」あなたはこれを「何もない」ととらえるか？「なんでもある」ととらえるか？ネガティブにとらえるかポジティブにとらえるかによって取り組み方が変わる。あらためて自身の地域を見つめ直し、私たちのまちには何があるのか、何がないのか、あるものを活かし伸ばすにはどうすればよいのか、ないものを補うにはどうしたらよいのか、発想と視点を変えピンチをチャンスととらえまちづくりに取り組めばと考える。

第1回市町村議会議員 特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回の研修では、「まちづくり」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方からご講演をいただき、改めて地域を見つめ直すとともに、地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催要領

日 程

令和5年7月31日(月)～8月1日(火)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講:150人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講:50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」ともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修:来所受講のみ) ※外泊はできません。

経 費

来所による受講:6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンラインによる受講:2,000円

申込期限

令和5年6月12日(月)まで

※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合がございます。

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。

「Web申込み」が不可能な場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

令和5年

7月

31日(月)

11:00～
入寮受付・昼食

13:00～
開講式・日程説明

13:15～14:45

講義 脱炭素先行地域「真庭」の挑戦

～地域資源を生かした真庭市の戦略～

岡山県真庭市 市長 太田 昇 氏

15:05～16:35

講義 未来の年表～人口減少日本で地方に起きること、すべきこと～

一般社団法人 人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司 氏

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和5年

8月

1日(火)

9:00～10:30

講義 Z世代とこれからのまちづくり

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター 教授 原田 曜平 氏

10:50～12:20

講義 その地域づくり、古くない？

～全国280以上の自治体と共創してきた、地域づくりの秘訣～

株式会社あわせ 代表取締役 吉田 基晴 氏

12:20～12:30

閉講・事務連絡

講師紹介

岡山県真庭市 市長 太田 昇(おおた のぼる)氏

1951年岡山県生まれ。京都大学法学部卒業。1975年に京都府へ入庁し、財政課長、知事室長、総務部長等を経て、2010年から京都府副知事を務めた後、2013年4月に真庭市長に就任。現在3期目。

真庭市の持続的発展のためには、地域資源を見出し、活用し、連携していくことが一つの方策であるという考えのもと、豊かな木質資源を活用したバイオマス発電やCLT(直交集成版)の普及など、里山真庭の多彩な地域資源を活かした戦略的取組に挑戦している。

一般社団法人 人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司(かわい まさし)氏

1963年名古屋市生まれ。中央大学卒業。産経新聞社論説委員を経て現職。現在、高知大学客員教授、大正大学客員教授、厚生労働省など政府の有識者会議委員も務める。これまでに日本医師会総合政策研究機構客員研究員などを歴任。2014年に「ファイザー医学記事賞」大賞のほか受賞多数。主な著書に、累計100万部超のベストセラー『未来の年表』(講談社現代新書)シリーズなど。

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター 教授 原田 曜平(はらだ ようへい)氏

1977年東京生まれ。慶應義塾大学商学部卒業後、広告代理店に入社。ストラテジックプランニング局、生活総合研究所、研究開発局を経て、2022年4月より現職。その他信州大学・特任教授。BSテレビ東京番組審査委員会。マーケティングアナリスト。2023年JAAA広告賞・新人部門賞を受賞。専門は、若者の消費・メディア行動研究及びマーケティング。

主な著書に「寡欲都市TOKYO若者の地方移住と新しい地方創生」(角川新書)、「Z世代に学ぶ超バズテク図鑑」(PHP研究所)、「シン世代マーケティングメガヒットのカギをにぎる!」(ぱる出版)、「Z世代若者はなぜインスタ・TikTokにハマるのか?」(光文社新書)など。

株式会社あわせ 代表取締役 吉田 基晴(よしだ もとはる)氏

1971年徳島県美波町生まれ。神戸市外国語大学卒業。自身の徳島へのサテライトオフィス進出をきっかけに、地方の暮らしの中で感じた地域課題をビジネスの力で解決したいという思いから、パブリックベンチャー(株)あわせを設立。「日本の地方を再興し、地方の力で日本を元気にする」ことを目指し、地方へのサテライトオフィス誘致や起業・創業の支援を軸とした地方振興事業に取り組む。2018年「本社は田舎に限る」(講談社+α新書)を上梓し、2019年公開の映画「波乗りオフィスへようこそ」の原案となる。2021年4月、地域の継続的な発展には次世代育成が必要との思いから、全国の地域を舞台に新たな教育づくりに挑む(一社)ミライの学校を設立。同年、地域森林資源の活用を通じて「森林関係人口」の創出を軸にした、中山間地域の振興に取り組む(株)四国の右下木の会社を設立。美波町政策参与。四国大学特任教授。内閣官房「未来技術×地方創生検討会」委員。J-LIS経営審議委員会委員。ふるさと財団調査研究部会委員。総務省地域力創造アドバイザー。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

新城市議会 滝川 健司 様

請求書番号 35347590-1-245

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区界町1-1-1

JTB小倉ビル

支店長 加藤

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	人 数	金 額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)		¥9,000	消費税対象外
合 計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 245

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

新城市議会 滝川 健司 様

請求書番号 35347590-2-245
発行日 2023/10/04
取引年月日 2023年10月24日～27日
株式会社JTB

請求書

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

北九州支店
〒802-0005 福岡県北九州市
JTB小倉ビル 堺町1-1-1
支店長 加倉

毎度、当社をご利用くださいまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	人 数	金 額(税込)	税率・税額
視察代金		¥10,000	10%
宿泊代金		¥8,500	10%
合 計(うち消費税)		¥18,500	¥1,682
10%対象小計		¥18,500	¥1,682
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥18,500

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】
【預金種別】
【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】
【口座番号】
【お客様番号】 245

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

研 修 報 告 書

令和5年11月30日

新城市議会議長 殿

滝川健司 

以下、研修に参加しましたので報告致します。

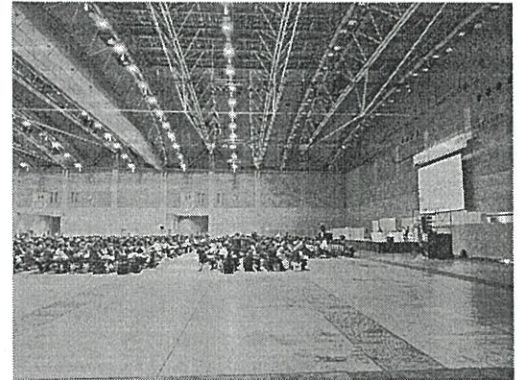
1. 研修日 令和5年10月25日（水）～26日（木）
2. 研修場所 西日本総合展示場 新館
3. 研修内容 令和5年 第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

（詳細は別紙資料参照）

4. 旅 費 政務活動費を使用
5. 行 程 公共交通機関（JR）を使用
7. 研修報告・所感

第1部 基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」

講師：大正大学教授 片山善博氏



【論点】

○地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会を検証する

- ・決定と執行の最高議決機関としての役割を果たしているか？
- ・地方議会の存在が少し薄れているのではないか
- ・投票率が非常に低く、無投票選挙や議員のなり手不足も
- ・投票率の低下の原因は？住民が議会に対して関心が低い
- ・DXとGXの先を見据えた活動



○日本の議会にかけていることは何か

- ・地方議会には①公開の場での議論②税の議論③住民の声の3つの議論が欠けている
- ・①結論の決まっている議論は面白くない、市民目線で予算案の修正を
- ・②固定資産税、住民税等の引上げ→その前にやる事→無駄事業の見直し
- ・③住民参加の上、切実な市民声を聴く→市民の声→委員会修正案

○現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと

- ・改正自治法の現行の制度の中で議案をもっと丁寧に議論し本質を見抜く→裏を取る
- ・執行部に聞くのではなく当事者に聞く→市民の意見を聞く場
- ・教育委員会に目を向ける→いじめ不登校→教員不足ブラック職場→多忙化→市教委の責任
- ・教育委員のチェック、県教委に意見の言える教育長→人事同意した議会の責任

○議会の常識と市民の常識をすり合わせる 市民が首をかしげることは

○今ふり返って議会に感謝していること

第2部 パネルディスカッション

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター： 谷 隆徳氏 日本経済新聞社編集委員



谷 日経新聞編集委員

- ① 選挙を評価検証したうえで、議会の課題に対する対応策や処方箋について
- ② 有権者によるハラスメント（票ハラ）への対策は
- ③ 法的な対応や議会にとって参考になる具体的な提言を
- ④ 厚生年金の地方議会議員の加入について

パネリスト 勢一智子 氏 西南学院大学法学部教授

- ① ・高齢者ほど投票率が高く若いほど低い
・地方議会には住民自治の危機が訪れている
・地方議会は地域の有権者から選ばれた議員だが、その構成が地域社会を映していない
- ② ・議会が何を担って何をやっていくのかを自らしっかり住民に示すことが重要
・女性議員をもっと増やす、年齢層を幅広くすることが理想
・主権者教育が非常に重要

パネリスト 辻 陽 氏 近畿大学法学部教授

- ① ・大規模自治体と中小規模自治体を同様に論ずることに無理がある
・小規模自治体のなり手不足の問題点は議員報酬と専門化
・小規模自治体では議員活動のみで生活するのは厳しい
・小規模自治体では事務局職員数も少い
・政務活動費が交付されていない市もあり議会活動が困難な状況
・議会の役割を発揮するためには議員活動に専念できる環境が必要
- ② ・主権者教育の機会を通じて一人でも多く議員を目指し議会に興味を持つ人が増える状況を作る
・自治体議会の事務局間の連携機関等の共同設置の取組が、政策立案もしやすくなる
- ④ ・専門化の方向にいくのであれば進めるべき



パネリスト 濱田真里 氏 Stand By Woman 代表

女性議員のハラスメント相談センター共同代表

- ① ・統一地方選挙に向けた女性議員のハラスメント相談センターの設置
・子育て中の女性立候補者を支援する子育て選挙プロジェクトを立ち上げ
- ② ・ハラスメント対策は、研修、条例や倫理規定等の整備、相談窓口の設置
・令和3年6月にハラスメント対策が議会に対して義務付けられたが、約2年を経過しても対応はあまり進んでいない



- ・男性議員へのハラスメントについては現在パネ議員の選挙経験とハラスメントの調査ヒアリングを行っている

パネリスト 田中常郎 氏 北九州市議会議長

- ① ・票率の低下、議員の人材確保、政策立案における質の向上が課題
 - ・市の課題をテーマに議員と市民が意見交換を行う「カフェトーク in 北九州」をはじめた
 - ・これまで議会報告会を計9回実施したが民意の把握ができていない
 - ・大学教授による基調講演や市民とのパネルディスカッションを通じて市民との交流を深める
- ② ・議員提案では条例を制定の手続きで多くの市民の意見を聴く機会を設けている



第4部 課題討議

「議員なり手不足への取組報告」

コーディネーター 江藤俊昭 氏

大正大学社会共生学部公共政策学科教授

- ① なり手不足問題を解決するための取組について
- ② 取り組みの成果について
- ③ なり手不足問題を克服するための地方議会への提言・メッセージについて



事例報告者 登別市議会議長 辻 弘之 氏

- ① ・地方議員の仲間と一緒に「未来への 種まき研究会」という団体で地方議員養成講座を開講
 - ・地方議会議員たる倫理観、地方における経営戦略、選挙のイロハ、公職選挙法の趣旨解説、地域のリノベーション、いじめや自殺問題などについて学ぶ機会を設けた
- ② ・なり手不足の具体的な解決に向けて、住民に働き掛けるターゲット層をどこに置くべきか、社会をどう変えていくべきか、その手法はどのようなものがあるかという議論が不足していた
 - ・次世代の地域リーダーや想いをもつ人材を育てていく、多様な価値観をもつ議会に変容、議会の社会的な課題解決力、議員自身が多様な議会をつくる必要がある
- ③ ・誰のための議会改革か改めて整理し議会改革が住民から評価されたり選挙で票を獲得することには繋がらないので、議員からの改善や改革などの提言を受け入れること
 - ・より社会の価値観に近い議決ができる機関機能を持ち、議会の価値を高めるために女性や若者に参画してもらう必要がある



事例報告者 一般社団法人 Woman SHIFT 理事 目黒区議会議員 たぞえ麻友 氏

- ① ・「届きづらい女性の声を政治につなぎ、一つずつ実現していく」とのミッションを掲げWOMAN SHIFTを設立
 - ・「女性議員がなぜ増えないか」、そもそもなろうと思わない、なり方を知らない、なっても辞めてしまう
 - ・日本政策学校とコラボレーションした「女性議員増やそうプロジェクト」を開催
 - ・「若手女性議員向け勉強会」と政策を実現するためのスキルとワザを共有しあう勉強会を開催
- ② ・住所の公開による家族からの反対や男女ともにストーカー被害があり安心して暮らせないこと、旧姓を使えないことが選挙のハードルになっている
 - ・政策を実現できる女性議員を増やし、女性のキャリアとして地方議員を選択肢の一つにすることをミッションに
 - ・女性の声をもっと政治に届ける「ママの議員インターン」をスタート
- ③ ・新人議員向けの暗黙のルールを教える勉強会や、ハラスメント研修も必要



事例報告者 枕崎市議会議長 永野慶一郎 氏

- ① ・18歳以上の市民を対象に定数、報酬、選挙や市議会に対する意見等のアンケート調査を実施
 - ・市民が考える適正な議員定数、報酬、なり手不足の原因、議員になるために必要なことなどについて意見を募る
 - ・議員定数は14人から12人に、報酬は据え置きに
- ② ・無投票を回避できたことが一番の成果
 - ・選挙に対して負担を感じる、資金問題が行く手を遮っている
 - ・会社員でも会社から理解を得て議員に立候補し活動できるようなやる気のある人が議員を目指せる環境づくりが大事
- ③ ・政治に関心のない若い人たちに向けてSNS等で市議会の取組等について情報発信
 - ・参加された人に意見を言ってもらうワークショップ形式の「市民と市議会と語る会」を行う



コーディネーター 江藤俊昭 氏

キーワードはやはり「育てる」ということと「働き方」ではないか。そもそも議会が何か、どうやって議員になるかを知らなければ立候補する気にならず、議員になってもすぐ辞めてしまう。多様性が議会の存在意義になり、それが政策や監視力の強化に繋がってくる。そのような議論が必要になってきているのではなか。



【 所感 】

今回のフォーラムは、全国の地方議会に共通する課題や今後の議会のあり方・取組について、情報を共有するとともに意見交換を行い、連携を深めることを目的としていた。近年の地方議会は定員割れやなり手不足、年齢性別構成の偏り、投票率・議会への関心の低下など厳しい状況となっている。

そんな中、地方自治法が一部改正され議員の兼業禁止が見直されるとともに、地方議会の役割及び議員の職務等が明確化されるなど多様な人材の参画促進に向けた環境整備が行われた。また、議員としての自覚と資質の向上、情報発信やより開かれた議会など信頼回復を進めなど更なる取り組みが必要と考える。

8. 現地視察

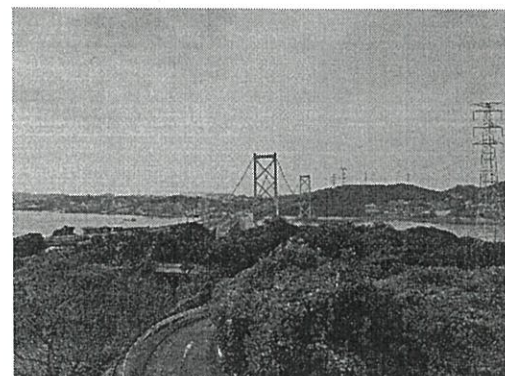
【 関門海峡の自然資源を活かした観光誘客への取組 】

・本州と九州を隔てる関門海峡は、瀬戸内海国立公園に指定され自然景観と雄大な景色は観光誘客の貴重な資源となっており、その取り組みについて視察。

・関門海峡ミュージアムは、関門海峡を丸ごと楽しむ体験型博物館となっており、子どもから大人まで楽しむことができる施設となっている。また、常設されている日本最大級のスクリーンでは関門海峡の自然や歴史の快挙王ドラマを映像で体験できるようになっている。

・関門海峡人道トンネルは、海峡を繋ぐ全長780メートルの歩行者専用海底トンネルとなっており、関門海峡トンネルは上下に区切られ上は車道、下が歩行者専用になっている。人道トンネル入り口には、エレベーターがあり門司区側は地下60メートルまで降下してから通行するようになっている。人道トンネルとエレベーターは国道2号として管理されているとのこと。

・和布刈公園は、九州の北端瀬戸内国立公園に位置し関門海峡を挟んで対岸間近に本州を望むことができる公園です。北九州を代表する観光地となっており、急流が渦巻く関門海峡、関門大橋の壮大な眺めは多くの人の憩いの場となっているとのこと。



第18回

全国市議会議長会 研究フォーラム



日本新三大夜景都市全国1位

令和5年 10月25^[水]日 ▶ 26^[木]日
13:00～(開場・受付11:30～) 9:00～(開場8:15～)

西日本総合展示場
新館 福岡県北九州市小倉北区
浅野三丁目8-1

大会テーマ
統一地方選挙の検証と
地方議会の課題

- 主催:全国市議会議長会 ■後援:総務省
- 協賛:全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター
- 実施:第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

みらいをつなぐ北九州 60th

第18回

全国市議会議長会 研究フォーラム



統一地方選挙の検証と地方議会の課題

◆ 主催者挨拶



全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿 ぼう やすなが

第18回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ北九州市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

近年、地方議会は議員の性別や年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化、議会への関心の低下などの厳しい課題に直面しています。昨年12月には地方自治法の一部改正により議員の兼業規制の緩和などが図られ、また、本年4月には同法の一部改正により、地方議会の役割及び議員の職務等が法律上明確化されるなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められていますが、まだまだ十分とは言えず、今後のさらなる取り組みが求められているところです。

そこで今回は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマとし、統一地方選挙の結果を徹底的に検証し、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

有識者の方々やご参加いただいた皆様方により活発な議論が交わされ、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆ プログラム



■ 第1日目 10月25日 水 [会場:西日本総合展示場 新館]

11:30	開場・受付
13:00	開会式
13:20	基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」 片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
14:20	休憩
14:40	パネルディスカッション 「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 コーディネーター 谷 隆 徳 日本経済新聞社編集委員 パネリスト 勢 一 智 子 西南学院大学法学部教授 辻 陽 近畿大学法学部教授 濱田 真里 Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表 田仲 常郎 北九州市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	終了
17:15	意見交換会 [リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」]
18:15	意見交換会終了
18:30	視察Ⅱ

■ 第2日目 10月26日 木 [会場:西日本総合展示場 新館]

8:15	開場
9:00	課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」 コーディネーター 江 藤 俊 昭 大正大学社会共生学部公共政策学科 事例報告者 辻 弘 之 登別市議会議員 たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT理事 目黒区議会議員 永野 慶一郎 枕崎市議会議員
11:00	閉会式
11:30	視察Ⅲ

※10月24日 火 視察Ⅰ



講師

片山 善博 かたやま よしひろ

大正大学教授兼地域構想研究所長

1951年岡山市生まれ。1974年 東京大学法学部卒業、自治省入省。国税庁能代税務署長、自治省国際交流企画官、自治省固定資産税課長などを経て、1999年 鳥取県知事。2007年 慶應義塾大学教授。2010年 総務大臣。2017年 早稲田大学大学院教授。2022年 大正大学教授兼地域構想研究所所長。併せて、鳥取大学客員教授、デジタル文化財創出機構理事、角川文化振興財団評議員などを務める。【主な著書】「知事の真贋」/2020(文藝春秋)、「片山善博の自治体自立塾」/2015(日本経済新聞出版社)など。

◆ パネルディスカッション



コーディネーター

谷 隆徳 たに たかのり

日本経済新聞社編集委員

1961年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。2005年から地方部編集委員、06年から13年間論説委員を兼務。現在は編集局編集委員。総務省、国土交通省、都庁などを担当し、地方行政全般のほか、地方分権、まちづくり、都市政策などを長年取材。全国知事会地方分権研究会委員、総務省過疎地域優良表彰制度審査委員などを歴任。共著に「列島破産」「さらば東京」「住民サービスここが一番」(ともに日本経済新聞社)など。現在、自治体向け雑誌「日経グローバル」で「地方自治を考える」を連載中。

パネリスト

勢一 智子 せいいち ともこ

西南学院大学法学部教授

山口県下関市出身。1998年3月九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。同年4月に西南学院大学法学部専任講師に着任。同助教授を経て、2007年より現職。専門分野は、行政法、環境法、地方自治法。国の審議会等では、第31・32次地方制度調査会委員、地方分権改革有識者会議議員、同提案募集検討専門部会構成員、同計画策定ワーキンググループ座長、国地方係争処理委員会委員、地方公共団体金融機構経営審議委員、中央環境審議会委員などを務める。

パネリスト

辻 陽 つじ あきら

近畿大学法学部教授

1977年大阪府生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学。博士(法学)。近畿大学法学部講師、准教授を経て、2016年4月より現職。専門は政治学、行政学、地方自治論。特に地方議会と首長をめぐる政治制度に強い関心をもつ。著書に「日本の地方議会—都市のジレンマ、消滅危機の町村」(中公新書、2019年)、「戦後日本地方政治史論—二元代表制の立体的分析」(木鐸社、2015年)、共著書に「テキストブック地方自治(第3版)」(東洋経済新報社、2021年)など。

パネリスト

濱田 真里 はまだ まり

Stand by Women代表/女性議員のハラスメント相談センター共同代表。専門は議員に対するハラスメント。2021年に女性による女性議員・候補者の選挙サポートを行う団体 Stand by Women を設立。これまでに100人以上の議員や候補者に対するハラスメントのヒアリングや相談対応を実施。内閣府「令和3年度政治分野におけるハラスメント防止研修教材」等の作成に関する検討会構成員。2022年に子育て中の立候補をサポートする「こそだて選挙ハック!プロジェクト」を始動。2023年に4月の統一地方選挙に向けて日本初の議員向け相談窓口「女性議員のハラスメント相談センター」を設立。

パネリスト

田仲 常郎 たなか つねお

北九州市議会議長

1966年生まれ。北九州市立大学地域創生学群地域創生学類卒業。平成21年2月から北九州市議会議員を務め、連続4回当選。現在4期目。その間、総務財政委員会委員長、議会運営委員会委員長を歴任。令和5年10月から、第24代北九州市議会議長に就任。議員活動の傍ら、NPO法人則松山金川コスモス会理事長(平成31年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞)、八幡西地区柔道連盟理事、北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長、北九州市なごなな連盟会長、保護司など、ボランティア活動や青少年育成を行っている。

◆ 課題討議



コーディネーター

江藤 俊昭 えとう としあき

大正大学社会共生学部 公共政策学科教授

中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士(政治学)。第29次・第30次地方制度調査会委員、「町村議会のあり方に関する研究会」委員(総務省)、全国町村議会議長会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長、全国市議会議長会90年史編集委員、有識者会議座長、等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「町村議会議員のなり手不足対策検討会」委員、議会サポーター・アドバイザー(滝沢市、四日市ほか多数)。「月刊 ガバナンス」などで連載中。

事例報告者

辻 弘之 つじ ひろし

登別市議会議長

1981年生。大阪府豊中市出身。北海道大学公共政策大学院修了。社会福祉士・精神保健福祉士・社会教育士・防災士。阪神淡路大震災での被災経験から社会福祉の道を志し、北海道登別市内にて医療ソーシャルワーカーとして就職。公的扶助の運用課題の解決を目指し、26歳で初当選。現在5期目。各委員長、監査委員等を歴任し、議長として早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング全国1位に導く。2023年統一地方選挙後、議長に再任。

事例報告者

たぞえ 麻友 たぞえ まゆ

一般社団法人WOMAN SHIFT理事/目黒区議会議員

1982年東京都目黒区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中にヨハネスブルグサミットに参加。経営コンサルティング会社で職中に3人の子どもを出産。保育園問題やマミートラックに悩む。2015年、実母の末期がん発覚を契機に、退職と出馬を決意。目黒区議会議員選挙に出馬、当選。WOMAN SHIFTの立ち上げから参画し、現在は理事。2023年、三度目の当選。現在は子育て支援、教育、DX、環境などの政策を展開。児童虐待問題については共著「子どもの虐待はなくせる!」を出版。

事例報告者

永野 慶一郎 ながの けいいちろう

枕崎市議会議長

1971年12月生まれ。鹿児島市立鹿児島商業高校を卒業。2013年度枕崎商工会議所青年部会長、鹿児島県商工会議所青年部連合会副会長。イベントの企画・運営やまちづくり事業に携わり、2015年4月市議会議員選挙において初当選。以来連続3回当選。現在3期目。2019年5月から総務文教委員長、2021年5月第46代枕崎市議会議長に就任。改選を経て2023年5月第47代枕崎市議会議長に再任。「無投票・定数割れからいかに回復するか 無投票選挙の克服をめざした4年の歩み」地方議会人2022年12月号。



第18回 全国市議会議長会 研究フォーラム



日本新三大夜景都市全国1位

■資料について

配布資料のPDFデータは、全国市議会議長会ホームページの「メンバーのページ(議員の方)」内「その他の資料」欄に掲載しています。(ID:shigir01 PW:mtshr054)

右の二次元バーコードからアクセスできますので、ご活用ください。

※本会の許可なく各種資料を第三者に提供することを禁じます。



■アンケートについて

今後の参考にさせていただきますので、本フォーラムに関するご意見・ご感想をお聞かせください。右の二次元バーコードからアンケートページ(Googleフォーム)にアクセスしご回答いただきますようお願いします。

※回答期限は10月27日(金) 17時00分までです。



領 収 書

新城市
議会

様

領収書No.	50
発行日	令和5年11月21日

金額

¥6,000 —

上記正に領収いたしました。

内訳

第15回全国水源の里シンポジウム現地視察参加費

第15回全国水源の里シンポジウム
委員長 上定 昭

※ 山口議員分も含む

(注) 領収書又はこれに準ずる書類を重ねないように貼付する

令和5年10月31日

新城市 議会
滝川 健司 様

第 1 5 回
全国水源の里シンポジウム参加証

- (1) 水源の里シンポジウム 参加
- (2) 交流会 不参加
- (3) 現地視察 参加 Bコース

【出雲市】 国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース

※現地視察にご参加の方は、現地視察当日は歩きやすい服装でご参加ください。
また、防寒対策もお願いします。

- 交流会（松江テルサ）へ参加の方は、シンポジウム会場（島根県民会館）から
JR 松江駅南口まで運行するシャトルバスをご利用ください。
- 現地視察へ参加の方は、8時30分までに集合場所（JR 松江駅南口：松江ユニ
バーサルホテル前）にお越しください。
- 現地視察へ参加の方でお車でお越し方は、現地視察研修時はJR松江駅近隣
の駐車場（有料）をご利用ください。

第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会事務局
（島根県松江市都市整備部大橋川治水・国県事業推進課内）
〒690-8540 島根県松江市末次町86番地
TEL:0852-55-5379 Fax:0852-55-5915
E-mail: ohashi@city.matsue.lg.jp

請求書

No. 50

令和5年10月31日

(新城市 御中
議会 様分)

下記のとおり、第15回全国水源の里シンポジウム
現地視察参加費として請求いたします。

第15回全国水源の里シンポジウム実行
委員長 上定 昭

請求金額 (消費税込)	¥6,000 -
----------------	----------

〒690-8540
島根県松江市末次町86番地
Tel: 0852-55-5379
Fax: 0852-55-5915

内訳	数量	単位	単価	金額(税込)
現地視察研修 Aコース	0	人	3,000円	0円
Bコース	2	人	3,000円	6,000円
Cコース	0	人	3,000円	0円
Dコース	0	人	3,000円	0円
Eコース	0	人	3,000円	0円
合 計	2	人		6,000円

【振込先】

金融機関・支店名
口座種別
口座番号
口座名義
カブシキガイシャ ジエイティービー
株式会社JTB

大変恐れ入りますが、11月20日(月)までに上記口座までお振込願います。
また、振込手数料のご負担も願います。

研修報告書

令和4年11月30日

新城市議会議長 様

滝川健司

以下、研修に参加しましたので報告致します。

1. 研修日 令和5年11月21(火)～22日(水)
2. 研修場所 島根県松江市
3. 研修内容 令和5年 第15回 全国水源の里シンポジウム
(詳細は別紙資料参照)

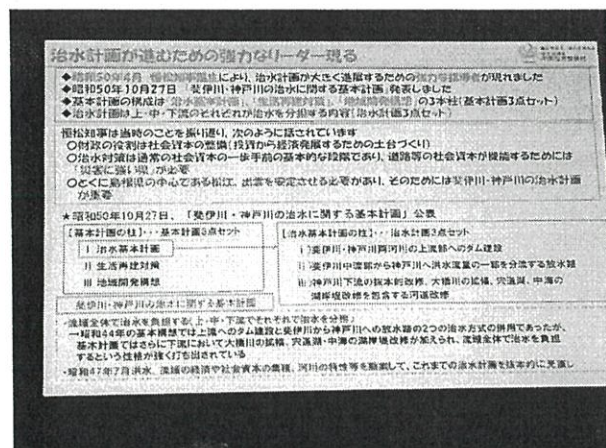


4. 旅 費 政務活動費を使用
5. 行 程 公共交通機関(JR)を使用
7. 研修報告・所感

■基調講演1「これまでの100年とこれからの100年」

～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～

講師：国土交通省出雲河川事務所長 小谷哲也氏





古くから氾濫を起こし甚大な被害をもたらしてきた斐伊川は、実在する川として古事記にも登場している。たたら製鉄の鉄穴流しが下流域に大量の土砂堆積をもたらし、氾濫を防止するために、川違えや堆積する土砂で宍道湖を干拓し新田開発するなどの対策を行ってきた。下流域は天井川となり、3つの取組が行われ1点目は、斐伊川、神戸川の両方の川の上流にダムを造る、2点目は中流に神戸川へ洪水の一部を分派する放

水路を造る、3点目は出口が狭い大橋川を拡幅するというもの。気候変動による災害の激甚化も進んでいる今の時代、行政による治水対策だけでは難しい。企業、地域、個人、あらゆる関係者が治水に関わり、それぞれができる対策に取り組んでくださることをお願いしたいとのこと。

※川違え(かわたがえ)…人為的に川の流れを変えること

■基調講演2「流域でつながる関係人口」

講師：島根県立大学准教授 田中輝美氏



現在毎年日本では島根(66万人)以上の人口が減っているという現状を挙げ、人口が減る・少ないということを前提とした上でどうやって幸せな地域社会を作っていくのか、ということが大切な問いであると指摘。そこで移住者を過剰に奪い合うゼロサムゲームを回避し、地域の担い手をシェアする「関係人口」という考え方を推奨する。関係人口とは「観光以上定住未満で、特定の地域に観光客よりは関わるけれども定住まではせず、継続的に関心を持ちながら関与する人」であり、都市部で生まれ育った「ふるさと難民」と呼ばれる若者たちは今、関係人口として人との繋がりや自分が役立てる場所を求めているという。

「関係人口を見込むには、どうすれば上流と下流が一緒に汗をかけるか、を考えることが大切。人と人を繋ぐ“関係案内所”があるといい。ゲストハウスだったり、カフェだったり…ちょっとお節介な関係案内人がいる気軽なコミュニティがあると、喜んでふるさと難民たちがやってくるとのこと。

これまでは基本的に地域の中の人だけで踏ん張って、自治や祭事などを行ってきた。その功績はとても偉大で、だからこそ今なお、地域のつながりや資源が残っている。しかしこれからは「一緒にやりたい、関わりたい」という外の人にも目を向けて“一緒にチームをつくる”。それこそが人口減少時代の地域づくりではないかとのこと。

【パネルディスカッション】

テーマ：斐伊川流域で活躍するまちづくりの担い手

コーディネーター：島根大学教授 松本一郎 氏



パネリスト

【ダムに見える牧場代表 大石亘太 氏】

尾原ダムの残土処分跡地で放牧を取り入れた牧場を経営。放牧を用いて、観光と教育と環境という三本柱で地域と交流しながら、来てくれる人が喜ぶような環境を整えている。これからもここに牧場があって良かったと地域の人に愛されるような牧場をつくりたいとのこと。

- ・きっかけは道路に牛の原風景、西ノ島町
- ・里山の維持、牛の放牧による管理



【このはなプラン代表 前田みのり 氏】

出雲神話ガイド、出雲国ジオガイドとして、お客さんを案内している。ジオガイドでは海岸掃除の会を結成し、環境保全活動にも取り組んでいる。素晴らしいから伝えたい、魅力があるから守りたい、そんな思いでこれからも出雲の未来を見据え自分にできる活動をしていきたいとのこと。

- ・きっかけは神話・伝説の面白さ、それを学び伝えたい。
- ・巨石に興味、なぜ？ ジオガイドに
- ・プランナー、ガイドとして素晴らしさを伝えたい
- ・一人は微力だけど無力ではない！



【(株)ちいきおこし代表取締役 河野美和 氏】

松江を一つのテーマパークとして、お土産、グルメ、ショップ、アトラクションなど総合エンターテインメント的にプロデュースするまちづくりをしている。今後はもっと地元の生産者と協同して野菜収穫や漁師などの体験観光を充実させたいとのこと。

- ・きっかけは綺麗な夕日を観光資源に
- ・見る観光から体験する観光へ



【やすぎどじょう生産組合事務局長 仙田拓也 氏】

安来市出身。見るドジョウ、踊るドジョウ、食べるドジョウで、ドジョウ養殖の特産化、ブランド化

に取り組んでいる。今後はもっと子ども達がドジョウに触れる機会を増やし、食育などを通じてドジョウの食文化を受け継いでいきたいとのこと。

- ・きっかけは見る踊るドジョウ！食べて知ってもらう
- ・食文化として子ども園学校で食育
- ・ドジョウの食人口を増やす
- ・安来節＝伝統文化の伝承



【コーディネーター 松本一郎 氏】

今日のパネリストは皆さん地域の“熱源人材”。共通して伝えたい思いとして子ども達への教育があった。熱源人材の皆さんが、地域の魅力を内外に発信しながら、若者を育てていく。教育に活かすということが、それぞれの夢の実現につながるのではないかとのこと。

- ・人口減少時代に半分の人口で地域を回すには
 - ①地域外人材②若者人材③熱源人材の3つの人材が大切
- ・地域にある自然の豊かさを学び活かす
- ・ないものはない！＝何でもある！or 何もない！→どう感じるかにより意味は正反対となる



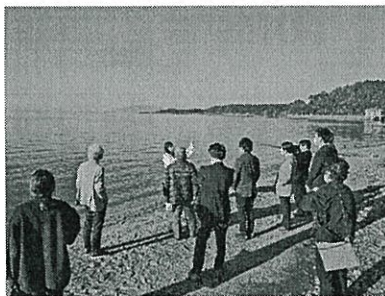
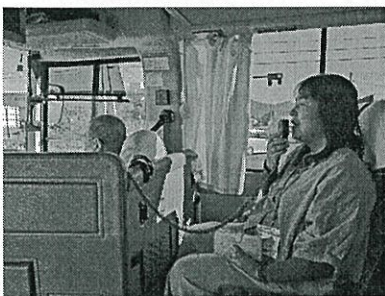
【現地視察】

「 国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース 」

行程：松江駅 ⇒ 宍道湖 ⇒ 斐伊川 ⇒ 出雲ドーム ⇒ 稲佐の浜 ⇒ 神門通り
⇒ 出雲大社 ⇒ 斐伊川 ⇒ 松江駅

島根半島宍道湖中海ジオパーク認定ガイド・出雲神話ガイドの前田みのり女史より、宍道湖の特徴や斐伊川とヤマタノオロチとの関係、出雲大社の様々な神様はなぜ縁結びの神といわれているのか、オロチを退治したスサノノミコトとの関わりは何かなど、出雲平野の成り立ちをジオサイトと神話伝承地の二つの視点から説明をしていただきました。

また、日本最古の神社建築様式、国内最大規模の木造本殿建築である国宝出雲大社に参拝しました。



【 所 感 】



今回の水源の里シンポジウムはこれまでのシンポジウムと少し違い、水源利水よりも治水に視点を当てたシンポジウムであった。斐伊川流域の上流域では古くから「たたら製鉄」が盛んに行われ、中下流域よりも上流部が発展しその恩恵を流域全体で受け発展してきた。しかし、たたら製鉄の砂鉄を採取する過程で山を切り崩し、土砂を水路に流す「鉄穴流し」（かんながし）が行われた結果下流域では天井川となり、度々洪水に見まわれることとなった。そこで斐伊川3点セット洪水対策とし、上流域ではダム、中流域では放水路、下流域では河川改修が行われてきた。これらの事業は流域全体で多くの家屋移転を伴う街づくりが行われ、住民の理解と協力がなければ成しえなかっただろう。

世間では11月は神無月と言われますが、ここ出雲では神在月と呼ばれます。1年に1度、全国の八百万の神々が出雲に集い人々の「しあわせ」のご縁を結ぶ大会議「神議り」がなされ、八百万の神々をお迎えし、出雲大社本殿を中心にさまざまな祭典が斎行され、約2週間過ごされた後、出雲をお立ちになられます。視察当日夜は、〔神迎祭〕神々をお迎えする神迎神事が視察した稲佐の浜で行われるとのことでした。残念ながら視察時間の関係で一連の神事を視察することはできませんでした。

上流は下流を思い、
下流は上流に感謝する

第15回

全国水源の里 シンポジウム

in 島根県松江市

オロチ退治でローカル・サステナビリティ
～斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して～

日程 令和5年11月21日(火)・22日(水)

会場 島根県民会館 大ホール ほか

主催 第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会
(松江市、国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江商工会議所、一般社団法人松江観光協会)

上流 尾原ダム



入場無料

11月21日(火) 13:00～17:15 (島根県民会館)

■シンポジウム

■基調講演

「これまでの100年とこれからの100年～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～」

講師：国土交通省 出雲河川事務所長 小谷 哲也氏

「流域でつながる関係人口(仮)」

講師：島根県立大学准教授 田中 輝美氏

■パネルディスカッション

コーディネーター：島根大学教授 松本 一郎氏(松江市SDGsアドバイザー)

パネリスト～斐伊川流域で活躍するまちづくりの担い手～

：大石 亘太氏 前田みのり氏 河野 美知氏 仙田 拓也氏

有料・要事前申込

全国水源の里連絡協議会会員向け

■交流会 11月21日(火) 18:30～20:30 (松江テルサ)

■現地視察研修 11月22日(水) 8:30～14:00 (JR松江駅南口集合・解散)

【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース

【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース

【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース

【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース

【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース

下流 穴道湖の夕景

第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会 事務局
(松江市都市整備部大橋川治水・国県事業推進課)

TEL.0852-55-5379

第15回 全国水源の里シンポジウム in 島根県松江市

一級水系斐伊川^{ひいかわ}流域は、上流域において古くから「たたら製鉄」が行われ、上流からもたらされる富により流域全体で生活・文化圏が形成され発展してきました。一方で、山を切り崩し、土砂を水路に流しながら砂鉄^{かんざ}を採取する「鉄穴流し」が行われてきた結果、全国でも稀な天井川が作り上げられ、度々の洪水に見舞われたことから、斐伊川は「ヤマタノオロチ」に見立てられ恐れられてきました。

近代化の進展とともにたたら製鉄は終焉し、流域間の繋がりが希薄化した現代において、都市部への人口流出と少子・高齢化により上流域を中心に過疎化が進行し、流域の活力が失われつつあります。そのようななか、昭和47年洪水を契機として、上流・中流・下流が互いに治水機能を分担する「斐伊川3点セット」と呼ばれる治水事業が計画され、これまでに上流のダム、中流の放水路が完成し、残る下流の大橋川改修が現在も進められているところです。

この治水事業は、多くの家屋移転やまちの姿かたちを変える極めて大規模なプロジェクトであり、流域全体の深い理解と協力が欠かせないことから、様々な方法で事業の周知や流域間の交流が図られています。また、治水のみに終始するのではなく、ダム周辺エリアのまちづくりや、大型水鳥類と共生するまちづくり、かわとまちが融合した魅力ある「かわまちづくり」など、「グリーンインフラ」の取組みによる持続可能な地域社会の形成が、流域全体で進められています。

この度、斐伊川流域における治水事業の関係者やまちづくりの担い手が一堂に会し、流域全体の持続可能なまちづくりを目指して意見を交わすことで、流域間の絆を更に深めるとともに、流域連携の必要性を広く全国へアピールする場として、シンポジウムを開催するものです。

11月21日(火) シンポジウム

基調講演



これまでの100年とこれからの100年
～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～

講師

国土交通省 出雲河川事務所長

小谷 哲也氏



流域でつながる関係人口(仮)

講師

島根県立大学 准教授

田中 輝美氏

パネルディスカッション



コーディネーター

島根大学 教授

松本 一郎氏
(松江市SDGsアドバイザー)



パネリスト

ダムの見える牧場 代表

大石 亘太氏



パネリスト

株式会社ちいきおこし
代表取締役

河野 美知氏



パネリスト

このはなプラン 代表

前田みのり氏



パネリスト

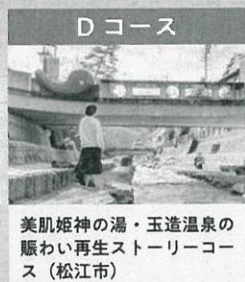
やすぎとじょう生産組合
事務局長

仙田 拓也氏

交流会 (※有料・要事前申込)

11月22日(水) 現地視察研修 (※有料・要事前申込)

斐伊川流域の歴史文化遺産や特徴的なまちづくりの現場を巡る――



第15回 全国水源の里シンポジウム in 島根県松江市

シンポジウム・交流会・宿泊・現地視察研修お申込みのご案内

オロチ退治でローカル・サステナビリティ
～ 斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して ～

一級水系斐伊川^{ひいかわ}流域は、上流域において古くから「たたら製鉄」が行われ、上流からもたらされる富により流域^{なだ}全体で生活・文化圏が形成され発展してきました。一方で、山を切り崩し、土砂を水路に流しながら砂鉄を採取する「鉄穴流し」が行われてきた結果、全国でも稀な天井川が作り上げられ、度々の洪水に見舞われたことから、斐伊川は「ヤマタノオロチ」に見立てられ恐れられてきました。

近代化の進展とともにたたら製鉄は終焉し、流域間の繋がりが希薄化した現代において、都市部への人口流出と少子・高齢化により上流域を中心に過疎化が進行し、流域の活力が失われつつあります。そのようななか、昭和47年洪水を契機として、上流・中流・下流がお互いに治水機能を分担する「斐伊川3点セット」と呼ばれる治水事業が計画され、これまでに上流のダム、中流の放水路が完成し、残る下流の大橋川改修が現在も進められているところです。

この治水事業は、多くの家屋移転やまちの姿かたちを変える極めて大規模なプロジェクトであり、流域全体の深い理解と協力が欠かせないことから、様々な方法で事業の周知や流域間の交流が図られています。また、治水のみに終始するのではなく、ダム周辺エリアのまちづくりや、大型水鳥類と共生するまちづくり、かわとまちが融合した魅力ある「かわまちづくり」など、「グリーンインフラ」の取組みによる持続可能な地域社会の形成が、流域全体で進められています。

この度、斐伊川流域における治水事業の関係者やまちづくりの担い手が一堂に会し、流域全体の持続可能なまちづくりを目指して意見を交わすことで、流域間の絆を更に深めるとともに、流域連携の必要性を広く全国へアピールする場として、シンポジウムを開催するものです。

■主 催 第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会

(松江市、国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江商工会議所、一般社団法人松江観光協会)

協 賛 全国水源の里連絡協議会、斐伊川・神戸川治水問題松江地区協議会

■開催日 令和5年11月21日(火)、22日(水)

■会 場 島根県民会館(島根県松江市殿町158)ほか

■スケジュール

《11月21日(火)》 シンポジウム

日 程	内 容	備 考
12:00	開場／受付開始	◆会場 島根県民会館 大ホール 島根県松江市殿町158
13:00～13:15	オープニング「正調関乃五本松節」	◆参加無料
13:15～13:35	開会式	◆アクセス JR松江駅より(のりば)
13:40～14:05	フォトコンテスト表彰式	・松江市営バス／「大学・川津行」(2番)、「松江しんじ湖温泉行」(3番)、「北循環線(外回り)」(1番)で10分「県民会館前」下車
14:10～14:40	基調講演1「これまでの100年とこれからの100年 ～斐伊川・神戸川改修100年のあゆみ～」 講師 小谷 哲也氏(国土交通省 出雲河川事務所長)	・一畑バス／「美保関ターミナル行」(2番)、「松江しんじ湖温泉行」(3番)、「恵曇・片句・古浦・高専行」(6番)で10分「県民会館前」下車
14:50～15:40	基調講演2「流域でつながる関係人口(仮)」 講師 田中 輝美氏(島根県立大学 准教授)	・運賃：170円(北循環線は210円)
15:45～17:00	パネルディスカッション テーマ 「オロチ退治でローカル・サステナビリティ ～ 斐伊川流域の持続可能なまちづくりを目指して ～」 コーディネーター 松本 一郎氏(島根大学 教授) パネリスト 大石 亘太氏(ダムの見える牧場 代表) 前田みのり氏(このはなプラン 代表) 河野 美知氏(株式会社ちいきおこし 代表取締役) 仙田 拓也氏(やすぎどじょう生産組合 事務局長)	◆駐車場 ・県民会館有料駐車場(平面)／収容台数130台、料金30分：100円 ・タイムズ一畑殿町駐車場(立体)／収容台数242台、料金60分：220円(24時間：700円) ・いずれも会館利用者は3時間無料(要手続)
17:05～17:15	大会アピール／次回開催地あいさつ	
17:15	閉会	

《11月21日（火）》 交流会 シンポジウム会場からJR松江駅南口まで無料シャトルバスあり（片道）

日 程	内 容	備 考
18：30～20：30	交流会（開場18：00～） 斐伊川流域の伝統芸能披露「出雲神楽」「安来節」	◆会場 松江テルサ テルサホール 島根県松江市朝日町478-18 （JR松江駅北口） ◆参加料 5,000円

《11月22日（水）》 現地視察研修 参加料に昼食・交通費含む

日 程	コ ー ス	備 考
8：30～14：00	A【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース	【8：30集合】 JR松江駅南口へ各自参集願 います。 ◆参加料 3,000円
	B【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース	
	C【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース	
	D【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース	
	E【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース	

■会場までの移動手段

○シンポジウム会場までの交通手段について

公共交通機関でお越しの方は、JR松江駅からバス又はタクシーをご利用ください。

お車でお越しの際は、会場提携駐車場（3時間無料）又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

○シンポジウム終了後の交流会会場までの交通手段について

シンポジウム会場からJR松江駅南口（交流会会場最寄り）までの片道は、無料シャトルバスをご用意します。

お車でお越しの際は、JR松江駅近隣の有料駐車場をご利用ください。

○現地視察研修会場までの移動について

現地視察研修は各コースともJR松江駅南口から中型バスで移動します。当日は8時30分までにJR松江駅南口へご参集ください。

■宿泊先

下記の「お申込み先」に記載の専用Webサイトにて宿泊先を斡旋しています。（令和5年10月15日（日）まで）

お申込み・お支払いの方法

お申込みは全て専用Webサイトにアクセスして手続きを行ってください。

①シンポジウム、交流会、宿泊、現地視察研修のそれぞれについてお申込みください。

②シンポジウムについて

・シンポジウムは入場無料で、どなたでもご参加いただけます。シンポジウムのみ参加される方は専用サイトからの申込みは不要です。

・ただし、全国水源の里連絡協議会会員（首長）及び来賓の皆様は、指定席をご用意しますので、専用サイトから申込み手続きを行なっていただきますようお願いいたします。

③宿泊について

・専用サイトが斡旋する宿泊先を利用する場合、専用サイトのガイダンスに従って宿泊先を決定し、支払い手続きを行なってください。

・なお、ハイシーズンにつき部屋数に限りがあります。先着順ですので、お早めにお申込みください。

④交流会、現地視察研修について

・参加申込みが会場等の収容定員を超える場合、参加者の決定は全国水源の里連絡協議会会員及び来賓等の関係者を優先のうえ、先着順にて決定しますので、お早めにお申込みください。

・現地視察研修の5コースについては、第1希望から第5希望まで選択してください。各コース同数程度になるよう調整させていただきますので、予めご了承ください。

・10月下旬に参加決定通知書・請求書等を代表者様に一括してお送りしますので、書類内容をご確認のうえ、11月13日（月）までに交流会及び現地視察研修の参加料を請求書記載の指定口座にお振込みください。振込み手数料は各自ご負担ください。

・シンポジウムの受付時に交流会及び現地視察研修の参加料の領収書をお渡しします。

お申込み先

（URL） <https://amarys-jtb.jp/suigennnosato/>

申込先QRコード>>>



お申込みの締切日

令和5年10月22日（日）※宿泊は10月15日（日）

変更・キャンセルについて

お申込み後の変更・キャンセルも専用Webサイトにて手続きを行ってください。なお、キャンセル料は次のとおりです。キャンセルにより返金の必要が生じた場合は、シンポジウム終了後、ご指定の口座へ振込にて返金します。ただし、返金に伴う振込手数料はお申込者の負担となりますこと、予めご了承ください。（宿泊を除く）

【交流会・現地視察研修】当日及び無連絡不参加：全額

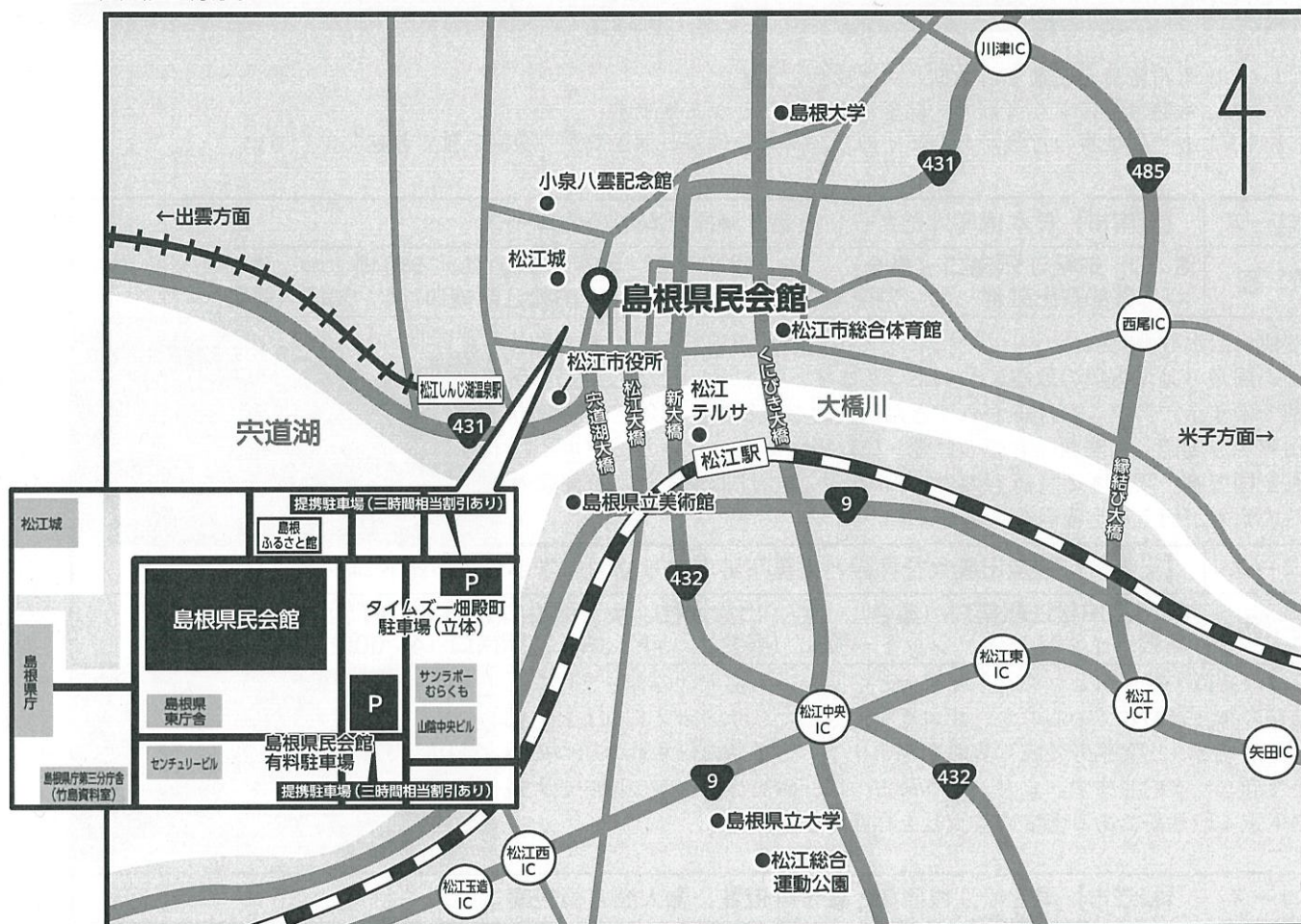
【宿泊】4日前以前：無料、3～1日前：宿泊料の20%、当日：宿泊料の50%、連絡なしの宿泊：全額

現地視察研修

- ①各コースとも市職員が添乗する中型バスで移動します。
 ②各コースとも諸事情により行程の一部を変更することがあります。
 ③各コースとも一部徒歩の行程がありますので、雨具の持参と歩きやすい服装、靴でお越しください。

Aコース	【雲南市】日本遺産「たたら」周遊と尾原ダム学びのコース
行 程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 尾原ダム ⇒ ダムの見える牧場 ⇒ 菅谷たたら山内 ⇒ 田部家土蔵群 ⇒ 割烹すぎ原(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
「斐伊川治水計画3点セット」の一つである尾原ダムを見学し、治水・利水とダム周辺の地域振興の取組について学びます。その後、たたら製鉄（我が国で千年余にわたり受け継がれてきた伝統的な製鉄法）で栄えた雲南市吉田町内を周遊し、映画「もののけ姫」に登場するたたら場のモデルといわれ全国で唯一現存する「菅谷たたら山内」と、松江藩筆頭鉄師田部家の往時の繁栄が伺える土蔵群を見学します。	
	
Bコース	【出雲市】国宝出雲大社拝観と出雲平野の成り立ちを学ぶジオガイドコース
行 程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 出雲大社 ⇒ 稲佐の浜 ⇒ 神門通り ⇒ 島根ワイナリー内、シャトー弥山(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
宍道湖の特徴や斐伊川とヤマタノオロチとの関係、出雲大社の神さまはなぜ縁結びの神と言われているのか、オロチを退治したスサノオノミコトとの関りは何かなど、出雲平野の成り立ちをジオサイトと神話の伝承地の二つの視点から詳しく案内します。また、日本最古の神社建築様式、かつ国内最大規模の木造本殿建築である国宝出雲大社を拝観します。	
	
Cコース	【松江市】国宝松江城観覧と城下町遊覧、職人商店街視察コース
行 程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 堀川遊覧船 ⇒ 松江城 ⇒ 松江歴史館 ⇒ 出雲そば処 八雲庵(昼食) ⇒ 職人商店街 ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
松江のまちは、今から400年余前に松江城の築城と同時に造られた城下町です。このコースでは、松江が全国に誇る現存天守・国宝松江城の魅力を余すことなくガイドするとともに、近世の姿を伝えるまちなみを堀川遊覧船で巡ります。そして、中心市街地の活性化を目的に城下町に息づく職人の技の「見える化」に取り組む「職人商店街」を視察し、松江の歴史文化遺産を生かしたまちづくりを学びます。	
	
Dコース	【松江市】美肌姫神の湯・玉造温泉の賑わい再生ストーリーコース
行 程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ 玉作湯神社 ⇒ 玉造温泉街 ⇒ 出雲玉作資料館 ⇒ 湯町窯 ⇒ 玉造国際ホテル(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
奈良時代の出雲国風土記や平安時代の枕草子に登場し、日本最古の湯として知られる玉造温泉。相次ぎ老舗旅館が廃業するなど一時は危機的な状況にありましたが、「美肌温泉」としてかつての賑わいを取り戻しました。美肌温泉を街のテーマとした理由や街歩きを促すための仕掛けなど、この地方の特徴でもある勾玉をはじめ玉造の歴史や文化も紐解きながら、歴史ある温泉街の再生の手法を学びます。	
	
Eコース	【安来市】「日本一の庭園」足立美術館鑑賞とどじょう養殖学びのコース
行 程	8:30 JR松江駅南口(集合) ⇒ やすぎどじょうセンター ⇒ 足立美術館 ⇒ 道の駅あらエッサ内、中海の郷(昼食) ⇒ JR松江駅南口 14:00頃(解散)
どじょうすくい踊りが象徴的な民謡安来節。安来市は、全国屈指のどじょうの養殖地でもあります。このコースでは、休耕田を活用したどじょう養殖の取組を学び、名物どじょう料理をいただきます。また、アメリカの日本庭園専門誌において20年連続日本一に輝いた足立美術館において、横山大観、北大路魯山人のコレクションと庭園を鑑賞します。	
	

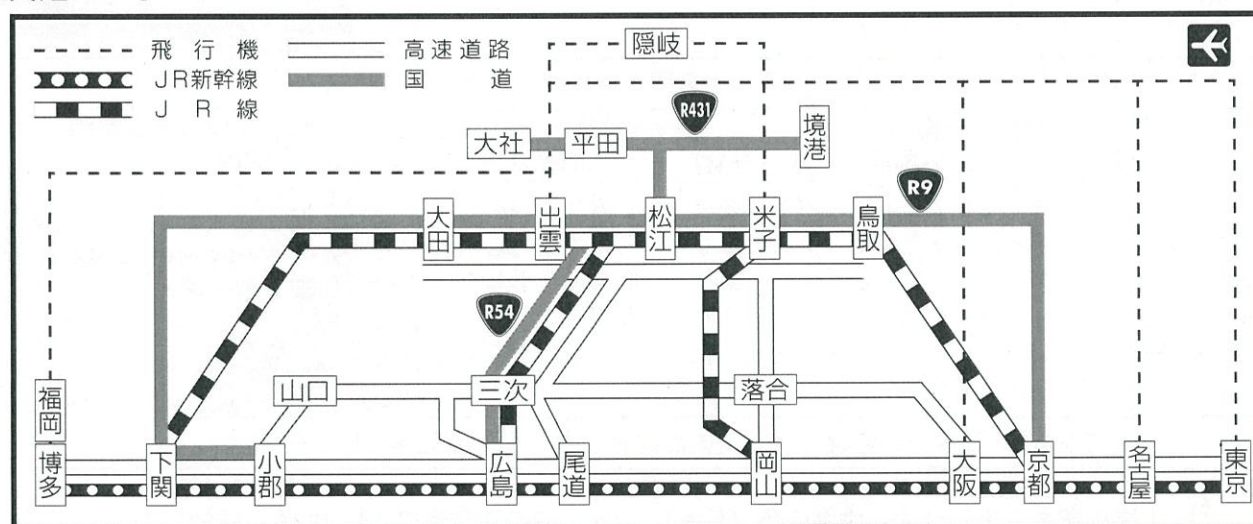
■会場ご案内



■JR松江駅より

- ・松江市営バス／「大学・川津行」(2番のりば)、「松江しんじ湖温泉行」(3番のりば)、「北循環線(外回り)」(1番のりば)で10分「県民会館前」下車
- ・一畑バス／「美保関ターミナル行」(2番のりば)、「松江しんじ湖温泉行」(3番のりば)、「恵曇・片句・古浦・高専行」(6番のりば)で10分「県民会館前」下車

■交通ルート



■お問合せ先

第15回全国水源の里シンポジウム実行委員会事務局
〒690-8540 島根県松江市末次町86
松江都市整備部大橋川治水・国県事業推進課
担当：古瀬・角田
TEL：0852-55-5379 FAX：0852-55-5915
MAIL：ohashi@city.matsue.lg.jp

■専用Webサイトに関すること

JTB山陰支店
第15回全国水源の里シンポジウム係
担当：小笠原果穂
MAIL：suigen15@bsec.jp※メールのみにて受付

大会アピール

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を理念とした「水源の里」の活動は、治水・利水の面から運命共同体とも言える同じ流域に住まう住民全員にとって、とても大切な活動です。

本日、「第15回全国水源の里シンポジウム」に参加した私たちは、流域の生命と財産を守るため、上流部・中流部・下流部が連携して治水に取り組む斐伊川・神戸川治水事業の精神に、流域連携の必要性を再認識するとともに、この流域において強い愛着と溢れる意欲を持ってまちづくりに取り組む人財の存在に、「水源の里」の可能性を見出すことができました。

私たちは、それぞれの流域における基盤とも言える「水源の里」を、決して欠くことができない流域の構成要素として捉え、確実に次世代へと繋いでいくため、一体となって次のことに取り組むことをここに宣言します。

- 一 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく流域連携の必要性を全国にアピールするとともに、流域間の交流・連携を通じて「水源の里」の持続的展開を目指します。
- 一 豊かな自然資源や歴史文化、温もりある人間関係に彩られた「水源の里」の魅力を積極的に発信し、多様な形で関わろうとする人々を支援し増やしていくことで「水源の里」の活性化を図ります。
- 一 親の世代が守り継承してきた「水源の里」を絶さないよう、流域全体が手を取り合い、あらゆる手法を用いて課題の克服を図り、未来の子どもたちに自信と誇りを持って「水源の里」を引き継いでいきます。

以上を確認し、大会アピールとします。

令和5年11月21日

「第15回全国水源の里シンポジウム」参加者一同

斐伊川・神戸川改修 100年のあゆみ



尾原ダム展示室

子供から大人までダムのことを知っていただけるさまざまな展示を行っています。また地域情報やイベント情報などを発信しています。



〒699-1342
島根県雲南市木次町平田 211-5
(尾原ダム管理支所内)
TEL:0854-48-0780 FAX:0854-48-0783



斐伊川放水路事業記念館

斐伊川放水路事業の目的や事業のあゆみ、また斐伊川放水路事業により生活環境が大きく変わった沿川地域のことなどを、各種展示を通じて紹介しています。



〒693-0022
出雲市上塩冶町 964 番地 1
(斐伊川出雲市河川防災ステーション地内)



大橋川コミュニティセンター

治水3点セット、大橋川の歴史、過去の水害、景観とまちづくり、水環境についてなど、パンフレット・パネル等を多数取り揃えています。



〒690-0887
松江市殿町383番地 (山陰中央ビル1階)
TEL:0852-28-3621 FAX:0852-28-3623



令和5年は、改修
起工式(大正12年
5月7日)より100
年目です



国土交通省 中国地方整備局
出雲河川事務所

研 修 報 告 書

令和6年 2月 28 日

新城市議会議長 様

滝川健司



以下、研修に参加しましたので報告致します。

1. 研修日 令和6年1月22日（月）～23日（火）
2. 研修場所 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号）
3. 研修内容 令和5年度 「第3回市町村議会議員特別セミナー」
日程及び詳細は別紙による
4. 派遣員 滝川健司
5. 経 費 政務活動費を使用
6. 行 程 公共交通機関（JR）を使用
7. 研修内容報告・所感



講義1 「ジェンダー論で笑って少子高齢化時代を乗り切ろう」

講師： 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻
教授 瀬地山 角 氏



- ・みんなで少子化を乗り越える→みんなが働く社会（高齢者、主婦）
- ・高齢社会が来ない方法→高齢者は70歳以上、年金も70歳から
- ・女性の4人に一人が未婚
- ・暴言を吐いても感謝される→地方議会は大統領制→議員の質が試される
- ・女性が働いても政治的発言力は高くない
- ・男の家事育児少なすぎ→社会的に問題にすべき
- ・結婚で相手に望む能力→男女とも育児家事能力、男女とも専業主婦を望んでない
- ・家事は手伝うものではない！→自分の仕事ではないという意識
- ・ジェンダーギャップ指数日本は146か国中125位→教育と健康はトップクラス、政治と経済は低い
- ・政治指数が低いのは与党の責任→政党助成金は傾斜配分→女性候補多数政党配分比率UP
- ・議員の比率が歪むと結論が歪む→女性議員を増やす取り組み→兵庫県小野市
- ・性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる社会
- ・個人差は必ず性差を超える→性別からの自由→女と男で新しい社会を構築しよう

講義2 「誰もが役割を持ち生きていく、共生社会の実現に向けて」

講師：特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

理事長 池田昌弘 氏



- ・支え合いの三角関係、繋がりが豊か→地域で幸せに暮らせる条件
- ・介護サービス、制度は整ったけれど繋がりは弱くなった
- ・つながり、気にかけて、住民も専門職もみんなで支え合う地域づくり
- ・普段の暮らしから困っていることよりも出来ていることで支え合う
- ・重層的支援体制整備→制度福祉+地域福祉+まちづくり
- ・困ったこと（課題）は見えるが、出来ていることはぼんやりとしか見えない
- ・個別支援の強化→つながりの希薄化→孤立化支援となる
- ・気になる人と気にかけている人を結びつける支え合い
- ・専門サービス+地域支え合い活動+気に掛け合い→地域づくりの木
- ・長寿健康の秘訣は社会性=社会参加+社会とのつながり
- ・社会性=きょういく+きょうよう→今日行くところ+今日用事がある事
- ・いくつになっても役割を奪わない→活躍が元気の源→一人一人の活躍を支える
- ・つながり+気にかけて+支え合う暮らし=地域の宝

講義3 「日本の財政について ～不都合な真実を正視する～」

講師：神奈川大学特別招聘教授 前財務事務次官 矢野康治 氏



- ・1990年までは歳出歳入とも伸び続く、それ以降歳入歳出の差拡大
- ・その差は国の借金（政府の借金）である国債で穴埋め
- ・2020年度新型コロナウイルス感染症対策の為差が一気に拡大
- ・債務残高の対GDP比、主要先進国中最大→180国中最悪水準
- ・普通国債残高1,000兆円超え、金利UP→利払増
- ・日本銀行保有長期国債増、保有EFT比4.5%保有額37兆円
- ・主要中央銀行総資産名目GDP比128%、FRB31%、BOE40%、ECB55%
- ・予算規模1990年62兆円、2024年112兆円→社会保障費と国債増
- ・社会保障支出対GDP比26%、社会保障以外21%、租税収入19%
- ・高齢化率2023年29%、2050年37%、主要先進国中最大
- ・社会保障支出の受益と負担が不均衡→中福祉低負担→制度維持確保のため改革→無駄カット
- ・諸外国等における高齢化率と付加価値税率の比較→高齢化率高く消費税率は低い
- ・国民所得に対する国民負担率→仏国70%、米国32%、英国46%、独国54%、日本48%
- ・国の資産と負債→資産合計724兆円、負債合計1,411兆円（十年金支払暗黙債務1,200兆円）
- ・日本の財政・財政運営はガラパゴス、財政問題→中央銀行経済活力の問題

- ・財政規律は国家存続や民主主義を守るためのもの

講義4 「 若者の未婚から見た日本の少子化 」

講師：東京女子医科大学衛生学公衆衛生学講座 准教授 坂元晴香 氏



- ・日本の少子化の最大の要因は→未婚化の増加→生涯未婚率の増加
- ・増える草食化→未婚交際相手無し増加→交際相手なく交際にも興味なし
- ・交際相手なく交際にも興味なし→年収300万未満が70%
- ・交際相手なく交際にも興味なし→正規職員比率が少ない
- ・異性間性交渉経験のない男性女性の割合の増加
- ・男性の異性間性交渉未経験の割合は働き方形態と関係あり→年収増に伴い未経験割合減少
- ・男性は高収入高学歴ほど結婚、女性は低収入と高収入が結婚
- ・結婚意思のある未婚男性は未婚女性より134万人多い→男性余り状態
- ・結婚相手に求めるもの男女とも→性格、家事育児能力、学歴、経済力、年齢
- ・未婚者のうち結婚願望は男女とも高い→時代が変わっても大きな変化はない
- ・子どもを持つ割合は→高収入、高学歴ほど高い
- ・女性の高学歴化は少子化と関係はない
- ・性的指向の多様化やアセクシャル、性交渉経験と相手無し→不活発化→回復しない出生率
- ・子育て支援は少子化対策となるか→子供手当、出産手当、保育支援等増やしても子供は増えない
- ・少子化対策として→子供を産むことで始めてもらえる経済的支援や第3子大学無償化
- ・少子化対策の必要性→守られるべき性と生殖の権利、人口規模による恩恵、生物の本能的行為

【 所感 】

今回のセミナーは、ジェンダー論、地域共生社会、日本の財政、日本の少子化をテーマにそれぞれの分野から福祉についての講演でした。

社会的な性別の違いによる差別をなくす、いくつになっても役割がある必要性、国民負担率48%更なる負担率UPをもくろむ財務省、政府の「異次元の少子化対策」で出生率は上がるのか疑問が今回の講演の感想でした。

講師の中の一人が思想信条的に偏っていたように感じたので、聴講していて気分が悪かった。

J I AMにおかれては講師の選択においてももう少しニュートラルな講師を選定してほしい。

令和5年度

第3回

市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「福祉」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方から講演をいただき、今後のわがまちの未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催要領

日程

令和6年1月22日(月)～1月23日(火) (2日間)

場所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講 150人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」ともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修:来所受講のみ) ※外泊はできません。

経費

来所受講: 6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講: 2,000円

申込期限

令和5年11月20日(月)まで

※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合がございます。

申込方法

○議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

○来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申込みください。

「Web申込み」が不可能な場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込みください。

※受講申込書は、JIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

TEL.077-578-5932

FAX.077-578-5906

令和6年

1月

22日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

13:00~
開講式・日程説明

13:15~14:45

講義 ジェンダー論で笑って少子高齢化時代を乗り切ろう

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻 瀬地山 角 氏

15:05~16:35

講義 誰もが役割をもち生きていく共生社会の実現に向けて

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:30

講義 日本の財政について—不都合な真実を正視する—

神奈川大学招聘教授／前財務事務次官 矢野 康治 氏

10:50~12:20

講義 若者の未婚からみた日本の少子化

東京女子医科大学衛生学公衆衛生学講座 准教授 坂元 晴香 氏

12:20~12:30

閉講、事務連絡

令和6年

1月

23日(火)

講師紹介

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻 教授 瀬地山 角(せちやま かく) 氏

1963年生まれ。奈良県出身。1986年3月に東京大学教養学部を卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了・学術博士、北海道大学文学部助手を経て、1994年東京大学助教授。2009年より現職。10年間2人の子供の保育園の送迎を一手に担い、今でも普段の夕食作りを担当するジェンダー論の研究者。子連れで渡米し、父子家庭も経験した。日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで東大の人気講義No.1に選ばれたジェンダー論の講義は毎年500人以上で立ち見が出る。NPO法人の理事として保育所の運営にも参加。抱腹絶倒の講演で日本全国を行脚中。著書に『炎上CMでよみとくジェンダー論』(光文社)、『お笑いジェンダー論』、『東アジアの家父長制』、編著『ジェンダーとセクシュアリティで見る東アジア』(いずれも勁草書房)、『新・知の技法』(共著・東京大学出版会)など。

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘(いけだ まさひろ) 氏

社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、社会福祉法人東北福祉会「せんだんの杜」副社長(特別養護老人ホームなどの施設長を併任)を経て、2005年7月から現職。ユニットケア、小規模多機能型居宅介護、共生型サービスの制度化に関わる。2009年から、宮城県仙台市内で24時間365日型の緊急宿泊受け入れを行う「国見・千代田のより処ひなたぼっこ」を運営。近年は日常の暮らしのなかにある住民同士の支え合いを「地域のお宝」とし、制度やサービスを上手に活用しつつお宝を生かす地域づくりを推進。「つながりを切らない情報交流ネットワーク」共同代表、及び「未来の豊かな「つながり」のための全国アクション」共同事務局として、つながり続けることの大切さを発信する。

著書に『マンガでわかる 生活支援コーディネーターのための地域支え合いの見つけ方・活かし方』『コロナ下で考える 気かけ合う地域づくり』(CLC)など。

神奈川大学招聘教授／前財務事務次官 矢野 康治(やの こうじ) 氏

1985年に一橋大学経済学部を卒業。同年、旧大蔵省(現財務省)入省、大臣官房文書課配属。小樽税務署長を経て、国税庁長官官房課長補佐。ハーバード大学研究員を経て、1994年から証券局課長補佐を務める。人事担当官房企画官、主計局主計企画官、主計局厚生労働係、主税企画官、主計局調査課長を経て、2007年より内閣官房長官秘書官となる。その後、主税局担当審議官を歴任する。2017年7月、財務省大臣官房長に就任し、主税局長、主計局長を経て、2021年7月事務次官となる。著書に『決断!待たなしの日本財政危機』(東信堂)など。

東京女子医科大学衛生学公衆衛生学講座 准教授 坂元 晴香(さかもと はるか) 氏

医師、博士(公衆衛生学)。札幌医科大学医学部卒業後、聖路加国際病院で内科医として勤務。その後、厚生労働省国際課及び母子保健課に内科医として勤務。国連総会や、世界保健機関(WHO: World Health Organization)総会など各種国際会議へ日本代表として参加した他、2016年にはG7伊勢志摩サミットやG7神戸保健大臣会合の会合運営にも関わる。2014年には、世界銀行より奨学金を受けハーバード大学公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士(MPH: Master of Public Health)を、2021年には東京大学にて公衆衛生学博士を取得。現在は、WHO西太平洋事務局コンサルタント、東京財団政策研究所主任研究員、日本医療政策機構シニアマネージャーを併任。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。